

衣、食から異文化理解 三条・栄中央小



Bangladesh の民族衣装を
試着する子どもたち。三条市
の栄中央小

さん(71)が講師を務めた。
エラヒさんは2017年、
母国に学校を建設した篤志
家で、建設の際も協力した
栄中央小の佐藤義朗校長
(58)と長年交流があり、招
かれた。

子どもたちは「バイジャ
マ」「サリー」など民族衣
装の特徴について説明を受
け実際に着たほか、スパイ
スが効いたインディカ米の
カレーも試食。「見たこと
がない米の形でびっくりし
た」などと感想を述べた。

また、イスラム教のラマ
ダン(断食月)には、貧しく
食べることができない人の
気持ちを理解するといった
意味があることも学んだ。

小林春翔君(9)は「民族
衣装はカラフルな色が多か
った。カレーはヒリ辛でお
いしかった」と喜んでい

Bangladesh 題材に

三条市の栄中央小学校4
年生43人が、 Bangladesh
やイスラム文化について
学んだ。子どもたちは民族
衣装を着たり、本格カレー
を食べたりして楽しみなが

ら異国への理解を深めた。
9日の授業は、 Bangladesh
出身で見附市の会社
員モハメッド・ヌルル・エ
ラヒさん(54)と妻の美砂子